

令和5年度 地域学校協働活動アンケート調査 地域コーディネーター

このアンケートは、学校と地域の協働体制を構築し、組織的かつ継続的な取り組みとするため、毎年度、効果検証を行い、翌年度以降の活動に反映させることを目的実施しました。

調査結果は、今後の八代市地域学校協働本部の基礎資料として活用していきます。

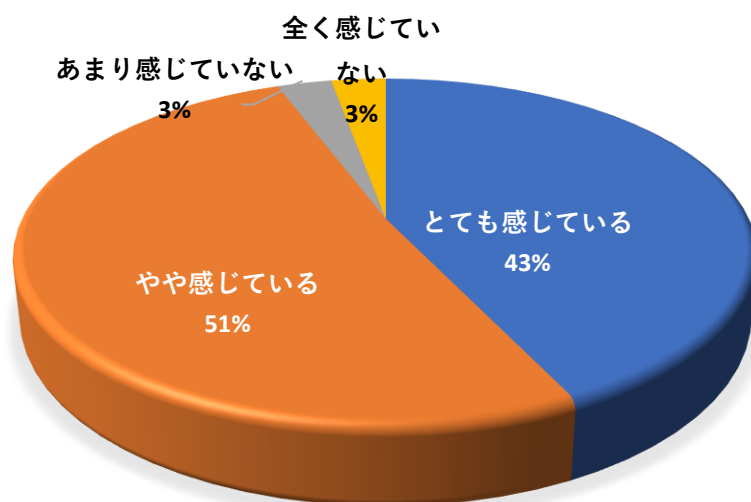
※調査期間 令和6年1月17日～1月26日

回答数	35名
-----	-----

【問 1】 地域コーディネーターの委嘱を受けて、やりがいを感じていますか？

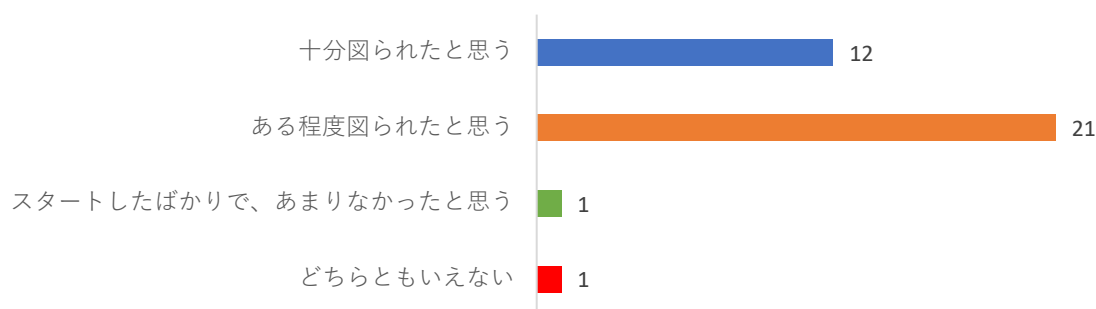
項目	回答数	割合
とても感じている	15	42.9%
やや感じている	18	51.4%
あまり感じていない	1	2.9%
全く感じていない	1	2.9%
合計	35	100.0%

多くの地域コーディネーターが地域学校協働活動に対して、やりがいを感じて活動いただいていることがわかりました。また、やりがいを感じていない活動があることもわかりました。



【問 2】 学校とのコミュニケーションは図られたと思いますか？

項目	回答数	割合
十分図られたと思う	12	34.3%
ある程度図られたと思う	21	60.0%
スタートしたばかりで、あまりなかったと思う	1	2.9%
どちらともいえない	1	2.9%
合計	35	100.0%

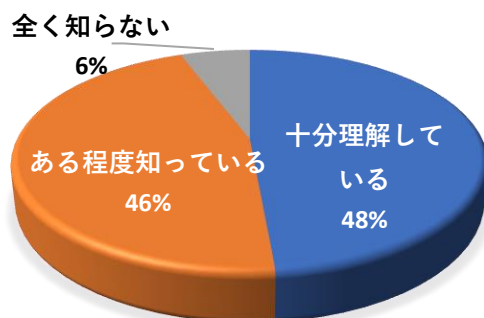


昨年と比較すると「十分図られたと思うが」5pt減少していますが、全体的には概ねコミュニケーションが図られています。

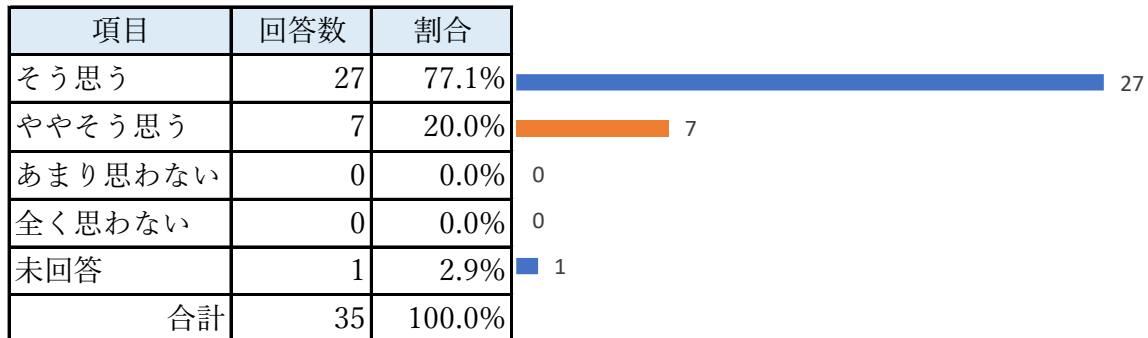
【問 3】 当該学校の教育方針や学校経営目標を把握していますか？

項目	回答数	割合
十分理解している	17	48.6%
ある程度知っている	16	45.7%
全く知らない	2	5.7%
合計	35	100.0%

地域コーディネーターがCS委員として参加していない学校があるということもあるため、委嘱時期等も含め、すべての学校のCS等において、情報を共有されるよう準備していきます。



【問 4】 連絡調整会議、各種研修等は役に立ちましたか？



【問 5】 連絡調整会議、各種研修等に関する要望はありますか？

グループワークの際にマスクになって正面から顔が見えないので、他の場所で会ってもわからない。また、他校の活動をもっと知るために、グループではなく全体協議等も活用願いたい。

パソコンを使った広報誌の作り方をご教示いただきたいです

各人に何か一言でもいいから発言してもらえればいいと思います。

現地研修は、活動しているところを実際に見て、体験もでき、とてもよかった。このような研修や、各学校の取組等の情報交換会、交流会を引き続き開催してほしい。

午前中の会議は11時30分までに終了する様に調整して頂きたいです。

今年一年補助的にはいりましたので、把握できないまま過ぎてしまいました。

今年度から地域コーディネーターになりましたので、前任の先生や、校長先生にご相談しながらの活動となっています。

参加者に学校の先生方、そしてPTAからもあっていいのでは？各学校それぞれ共有できるものであればいいと思います。

前回の意見交流会が、ある程度校区の方々とグループになっており各小学校の担当者と話が出来て参考になりました。

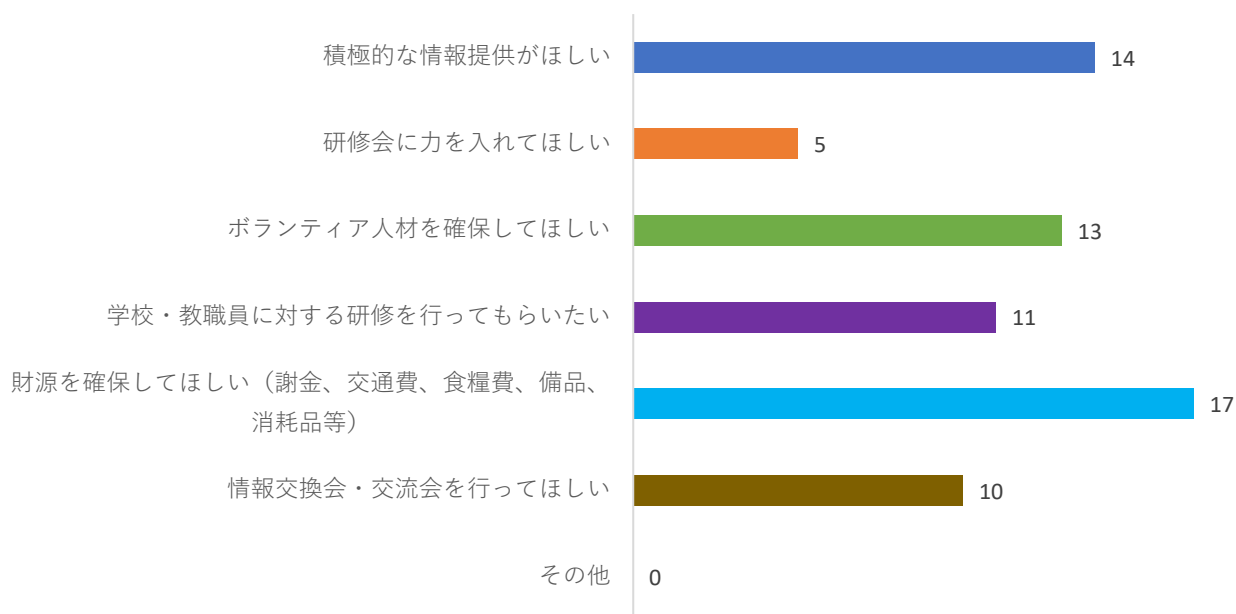
他校のお話を聞いて感心させられたり参考になる事もありますが毎回ではなくて良いので校区毎に意見交換会があると良いなと思います。

【問 6】 地域学校協働活動を実施する上の課題は何があると感じていますか？

ボランティアの人数を増やす
まだ、十分に活用されていないように思います。方法とか、意思疎通とか、まだ模索してるところがたくさんあります。
学校からの依頼際に、日にちや時間を決定する前に事前に相談してほしい
学校職員との、話し合いの時間がとれたらもっと協力態勢がとれるのではと自分なりに考えています。
学校職員のコーディネーターと地域への理解と必要性
教頭など先生たちがかわれて、前にあった事業がなくなる。また、郷土芸能や町の文化祭など小中学校で一緒に出演するが練習に時間が掛かるため提案がしにくい。
後継者作りが必要と思います。同じ人が長く止まっていたら活動内容が理解されないと思います。
人材の確保と協働活動に対する理解を職員及び地域住民が深める
先生方の依頼する、しない、の意識の差。授業の邪魔にならないのが1番だと思います。そして、スタッフ、ボランティア人材の確保、今よりもっと周知して、理解と協力を求めなければと思っています。
代陽小では、現在小6の外国籍の児童の授業サポートをしています。4月から一中進学ですが、学校同士の連携と、スムーズな移行をどのようにしていったら良いかと、悩みます。また、無償でサポーターの方にお手伝い頂いていますが、暑い時にペットボトルのお茶1本でもお渡し出来たら、熱中症予防等にもなるかと思いますが、こちらの財源では利用できない。とお聞きしました。どうかならないかな？と思いました。
担当する中学校は3つの小学校からなっており中々、他が実践されている様な活動が出来ずに過ぎました。校区の垣根を越えてが今の目標です。
地域の協力に対する温度
地域の方々にはコーディネーターの役割、存在も知らない方がほとんどではないかと思えます。周知して頂ければもっと活動しやすいのではないかと思います。
地域協力者が毎回同じになり、人材不足であること。
予算の増額
予算を全て未来塾に使われているので活動がありません。学校から依頼がないので地域の人に声をかけることもありません。地域の方々には年度当初にお願いしているので待たれています。コーディネーターがすることが何もないので、必要ない学校のコーディネーターは名前だけになってしまいます。
未来塾の先生が兼任されるか、PTA会長が兼任する等の措置を取られるなど対策された方が良いかと思えます。

【問 7】 地域学校協働本部の支援策についてお聞かせください。（複数回答可）

項目	回答数	割合
積極的な情報提供がほしい	14	20.0%
研修会に力を入れてほしい	5	7.1%
ボランティア人材を確保してほしい	13	18.6%
学校・教職員に対する研修を行ってほしい	11	15.7%
財源を確保してほしい（謝金、交通費、食糧費、備品、消耗品等）	17	24.3%
情報交換会・交流会を行ってほしい	10	14.3%
その他	0	0.0%
合計	70	100.0%



地域学校協働本部の支援策は、「財源を確保してほしい」が一番多く、お茶代等を望む声が多かったので、引続き予算確保に努めて参ります。

【問 9】 その他、地域学校協働活動についてご意見がありましたら自由に記載ください。

それぞれの学校の活動を尊重して、その地域と学校に無理のない、持続可能なものとしていければと思います。

まだまだ皆さんのお助けを借りながらの活動になってます。代陽小は、職員室に地域コーディネーターが使える机があり、毎週金曜日の夕方と決めているので、その日に先生方と打ち合わせる事が出来て助かってます。他校の色々な取り組みを、現在はLINEで知りますが、打ち合わせ内容や準備期間など、色々とお尋ねしたい事もありますので、研修会だけでなく、沢山交流しながらゆっくり雑談も交えながらの情報交換の交流会もあればなあ。と思いました。

学校からサポーター等に直接依頼される場合があるので、コーディネーターを通すのかを統一してほしい。

年代も様々な方たちが児童、生徒たちの為と楽しみながら頑張っておられる姿に頭が下がりました。